

## 自動電源周波数磁界ジェネレータ


**SCHAFFNER**  
 safety for electronic systems


- Modulaシステム統合用の機能ユニット
- 50Hzまたは60Hzでの磁界試験  
最大40A/m
- EN/IEC 61000-4-8に適合

磁界の影響を受けやすい部品を含む電子機器は、その電磁界へのイミュニティが試験される必要があります。製品規格はこのような試験を規定しており、対象製品や磁界強度等などの詳細を定めています。基本規格EN/IEC 61000-4-8は電源周波数磁界試験の方法を規定しています。

MFO 6502はModulaシステム用のオプションで、電源周波数磁界試験を自動で行います。システムケーブルによりModulaシステムに接続され、その機器構成管理、ソフトウェア制御、レポートメカニズム内に統合されます。

本ユニットは頑丈なアルミ合金製で、持ち運びに便利なハンドルが付いています。ユニット内部にはプログラマブル低インピーダンスパワーアンプが収納されており、磁界ループアンテナ

INA 702及びINA 701の制御を行います。これらのアンテナと同等の仕様で、アンテナファクタが知られている他の磁界ループも使用できます。

発生される磁界は、使用するアンテナにより異なります。INA 702アンテナを使用した場合、50Hz及び60Hzの磁界を最大で40A/mまで発生可能です。

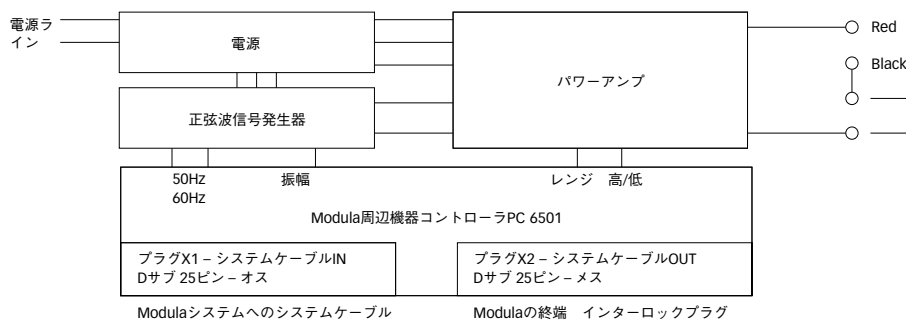
パワーアンプを使用した場合、サイズが小型化し、軽量化します。また使用地域の主電源に関わりなく50Hz及び60Hzを試験できます。

自動制御試験を行うために必要なあらゆるパラメータは、Modulaの携帯コントローラ、またはWinModulaソフトウェアを搭載したコンピュータ

から設定できます。個々のアンテナのファクタが入力されると、設定された磁界強度をアンテナループにおいて達成するために必要な駆動パラメータがシステムにより計算されます。

WinModulaテストライブラリが拡張され、共通規格に定義される電源周波数磁界試験に加え、EN/IEC 61000-4-8試験、及び多数の製品規格が追加されました。

## ブロックダイアグラム



## Technical specifications

磁界ループアンテナINA 701を使用した場合	
磁界強度 低レンジ	0.08A/m～0.4A/m (80mA～400mA 駆動電流)
高レンジ	0.2A/m～3.6A/m (200mA～4.1A 駆動電流)
磁界ループアンテナINA 702を使用した場合	
磁界強度 低レンジ	0.8A/m～4A/m (80mA～400mA 駆動電流)
高レンジ	2A/m～40A/m (200mA～4.1A 駆動電流)
総高調波歪み (THD)	<8% (レベル1～4)、<3.5% (@最大出力)
試験周波数	50Hz及び60Hzを選択可能 ±3%
磁界調節	ソフトウェア制御
機器電源	世界共通電源 100～250VAC, 47～63Hz
動作温度	5～40°C
過負荷保護	温度センサー
寸法	L x W x H 380 x 195 x 180mm
重量	約4.2kg
制御ケーブル	Modulaシステムケーブル 2m (標準添付)
必要なModulaシステム	マスターコントローラ Rev.2 (銅インターフェイス) マスターコントローラファームウェア1.17以上 MHCソフトウェア、ModPDAバージョン2.30以上 WinModulaバージョン2.30以上